

中、どのような災害においても「自助」である災害への備え、「共助」である地域の支え合いという、地域防災力の強化と幅広い対応が必要不可欠です。

自主防災組織への支援を継続し、「公助」と連携した「自助」と「共助」による「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の絆をより一層進め、あらゆる事故災害において、これに万全を求め、「一人の犠牲者も出さない」意識で臨みたいと思っております。

### 第3は「健康づくり」

生涯にわたり、社会に参画し、いきいきと人生を送るためには、年齢にかかわらず、健康で自立した暮らしができることが重要で、社会の活力の増進や、社会保障費の削減と町民負担の軽減にもつながることから、疾病の早期発見、早期治療にとどまらず、自らが積極的に健康づくりに取り組み、生活習慣の見直しを行うなど疾病を予防し、健康レベルの向上を図り、健康寿命の延伸を目指す必要があります。

こうしたことから、健診の受診率を高めるとともに、健康づくりに必要な情報の提供を行い、住民と行政が協力しながら、健康寿命を延伸させることが何よりも「幸せに暮らすこと」に繋がるものであり、さらに健康づくりを推進してまいります。

これら3つの重要課題への取り組みと、私が従来から推進してまいりました地域に密着した事業を中心に、昨年策定した「周防大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた事業は可能な限り実施し、課題解決に向けて取り組んでまいりる覚悟でありますので、町民の皆様のお一層の御支援、御協力をお願いいたします。

## 再編交付金で事業を実施しました

平成19年度から、「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」第6条の規定により、在日米軍再編による住民生活の安全に及ぼす影響が増大する市町村に対し、公共施設の整備、住民生活の利便性向上や産業の振興に寄与する事業を対象に、国から再編交付金が交付されています。周防大島町には、平成27年度に2億2,705万9千円が交付され、次の事業を実施しました。

### ○防災に関する事業

#### ・漁港陸閘整備事業

(工事：土居地区、設計：日前地区・棕野地区)  
2,116万5千円

### ○教育、スポーツおよび文化の振興に関する事業

#### ・学校情報通信機器整備事業

(町内全中学校5校および島中小学校)  
1,772万7千円

#### ・小学校空調設置事業

(設計：明新小学校、森野小学校)  
248万4千円

### ○住民の生活の安全の向上に関する事業

#### ・久賀公民館耐震改修事業

1億6,048万3千円

### ○福祉の増進および医療の確保に関する事業

#### ・ちびっ子医療費助成事業基金積立

2,520万円



▲漁港陸閘整備事業（土居）



▲久賀公民館耐震改修事業（久賀）